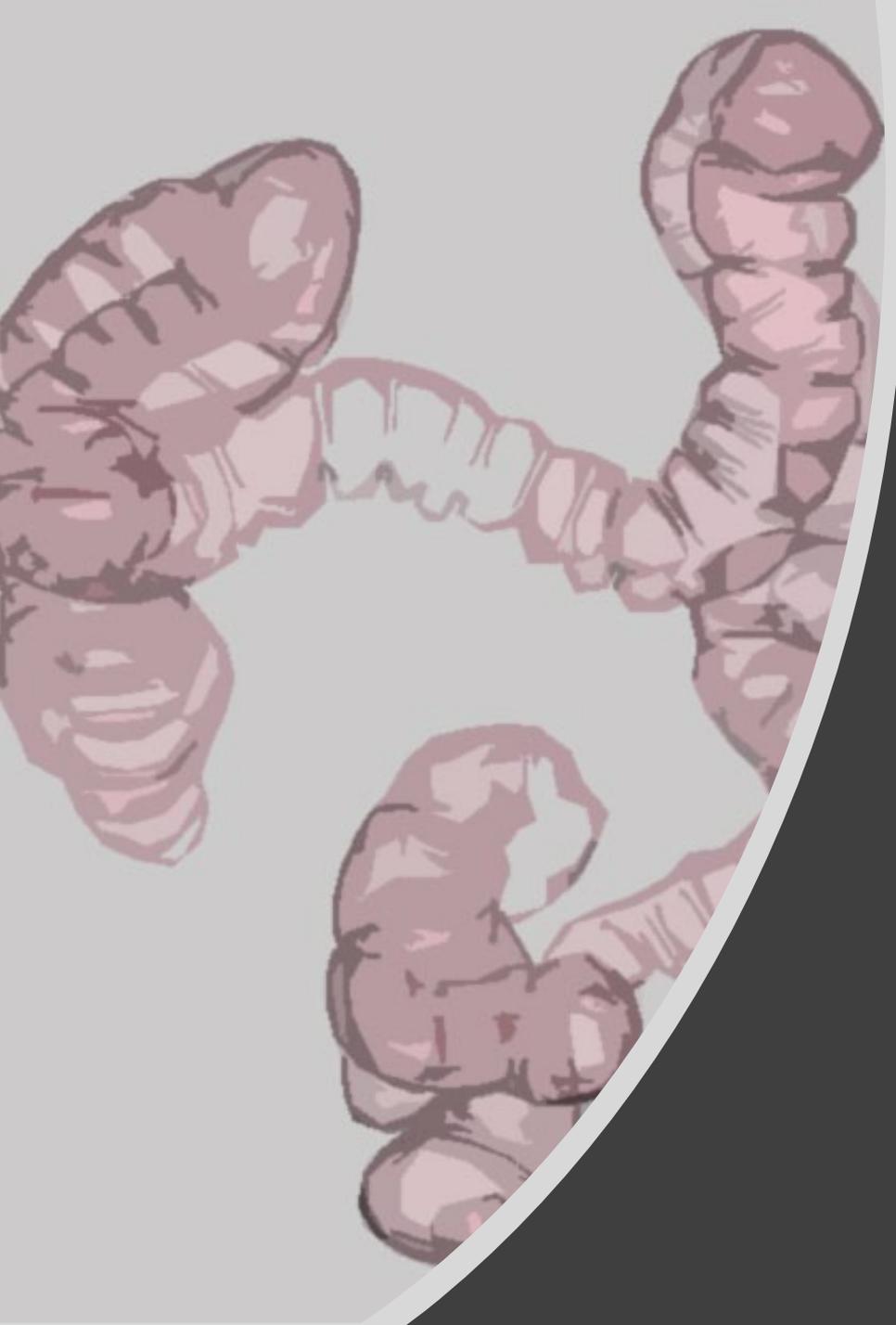


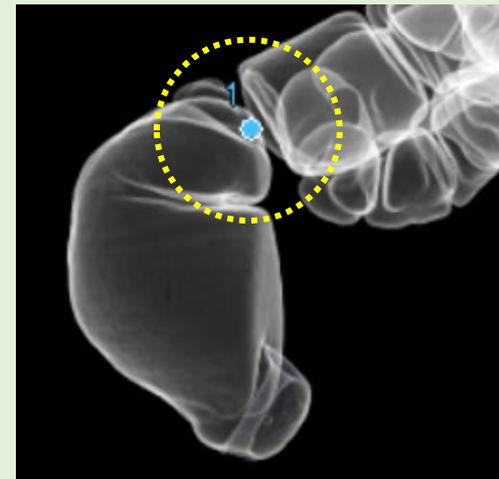
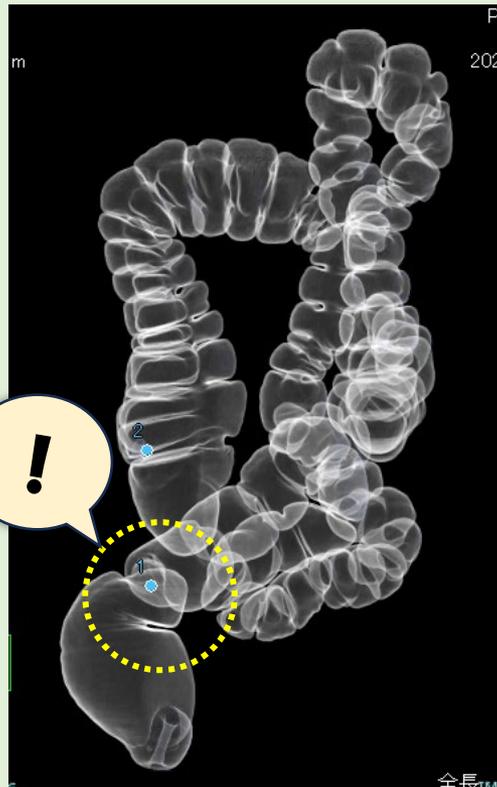
CTCメルマガ vol.58
2024.5.17



鎮痙剤の是非

Presented by Daisuke Tsurumaru
Radiology Dept. Kyushu Univ.

結果です。 My CTC result

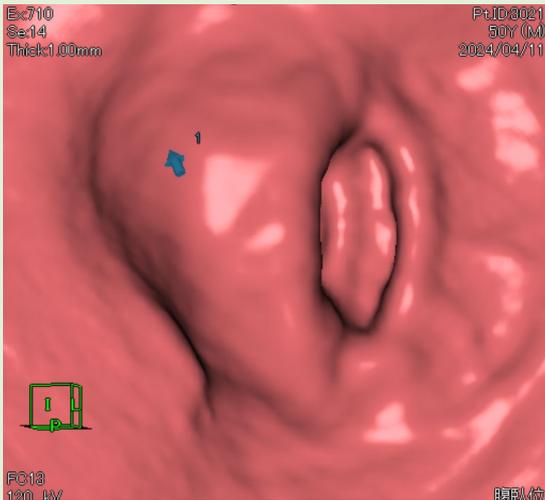


直腸Rsに局限した拡張不良があり、腫瘤様？の壁肥厚を示しています。なんと…

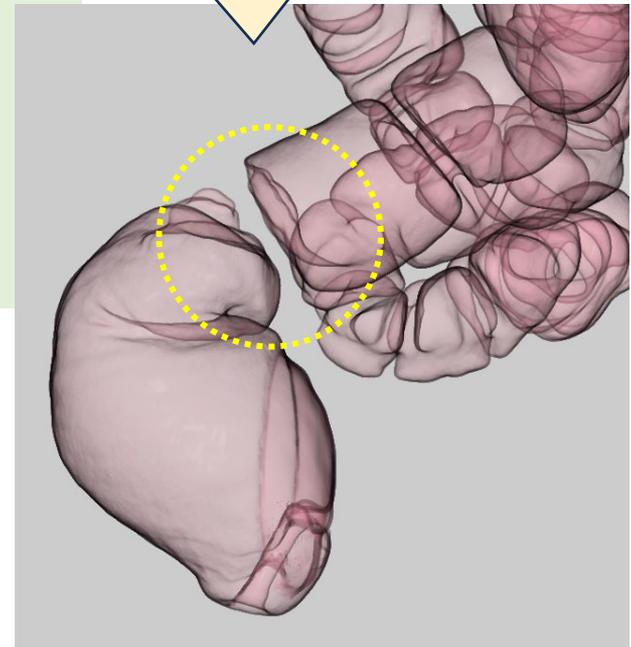
Abnormal rectum, stricture? mass?

約1年前の大腸内視鏡で異常はなかったのですが、念のため直腸だけ内視鏡で確認することにしました。

Subsequent rectoscopy was scheduled



当院のアプリケーションで再構成した画像でも、腫瘍性狭窄らしくはありません。



異常なし。
No lesions

大腸の攣縮(スパズム)による偽病変と考えられます。
Probable pseudolesion due to spasm

鎮痙剤を注射していれば防げた可能性があります。
(検査時に打診されたものの、使用せず...)

Antispasmoic agent could avoid it?

鎮痙剤とは？

Antispasmoic agent

内視鏡検査の際に、消化管の蠕動運動を抑制するための前投薬です。蠕動運動が止まるだけでなく、緊張の緩和により撮影の条件が良くなります。ただ、撮影機器の進歩により最近では必須としない施設も多いです。

鎮痙剤の代表薬:ブチルスコポラミン臭化物
商品名:ブスコパン

Butyl scopolamine used before GI tract exam

被写体の動きを止めたいわけです。



〈ブスコパンの特徴〉

- ・内視鏡の前投薬では肩に筋肉注射 Commonly injected intramuscularly
- ・若干の副作用がある(目の調節障害など) Mild side effect for eye adjustment
- ・禁忌:緑内障、前立腺肥大、重い心臓病(不整脈、狭心症etc)

Contraindications: glaucoma, prostate enlargement, severe heart disease

大腸CTにおける鎮痙剤使用の知見

Is an antispasmodic necessary for CTC?

推進派「ブスコパンいる」

Necessary

•腸管拡張が改善する！

Improve bowel dilatation

否定派「ブスコパンいらん」

Unnecessary

- 腸管拡張度に差はない
- 大腸CTは撮像時間が短い
- 内視鏡のような物理的な刺激が少ない
- 鎮痙剤による副作用のリスク

No significant difference

永田ほか 日本大腸肛門病会誌 63: 127-133, 2010

残念ながら・・・

CO₂自動注入器を用いた最近の科学的データがほとんどありません。



〈本田先生からのアドバイス〉

鎮痙剤を使用はしない場合は注入圧の調整など撮影にテクニックが必要です。

ブスコパンを使えば、撮影が楽で画像も圧倒的に良くなりますよ。

Dr. Honda recommend use of butyl scopolamine based on his experience!

おすすめです！



本田徹郎先生、情報提供と御助言ありがとうございました！